

平成 23 年度・24 年度実証運行結果の報告（1 年間の利用実績）

（運行開始から平成 24 年 9 月までの状況）

1. 乗車人員及び運賃収入状況

●門前線

1 日あたり乗車人員 106 人（期間内総数 24,887 人）

1 日あたり運賃収入 15,271 円

●西畑線・萩原線

1 日あたり乗車人員 21 人（期間内総数 4,980 人）

1 日あたり運賃収入 4,339 円

2. 1 年間の収支

●門前線

運賃等収入 3,605 千円/経常経費 5,914 千円=61.0%

よって、市負担割合は 39.0%となる。

●西畑線・萩原線

運賃等収入 2,880 千円/経常経費 6,079 千円=47.4%

よって、市の負担割合は、52.6%となる。

（国庫補助金 1,850 千円を収入して）

3. ご利用の傾向

●門前線

利用が増加してきており、1 日平均約 106 人のご利用がある。（3 月までの半年間の
1 日平均は 92 人）

生駒駅（セイセイビルを含む）からの乗車人員と他の停留所の乗車人員の比率は、
69 : 31 となっている。（帰りのご利用が多い）

2 便、8 便（生駒駅 9:00, 14:00 発）の利用者がやや少ないものの、各便まんべん
なくご乗車いただいている。

運賃収入における、現金と回数券との比率は、40 : 60 となっている。（継続的なご利
用が多い）

高齢者だけではなく、買い物、通勤の利用もある。

満席により、乗車いただけなかった例が増えてきている。（7 便（生駒駅 13:30 発）、
13 便（生駒駅 16:45 発）、14 便（生駒駅 17:15 発）など。ほとんどが生駒駅。）

●西畑線・萩原線

運行開始時点は、1日平均23人のご利用があり、その後減少傾向にあったが、3月以降増加に転じており、1日平均約21人のご利用がある。

(3月までの半年間の1日平均は19人)

せせらぎ～南生駒駅間からの乗車人員と他の停留所からの乗車人員の比率は、51:49となっている。(行き、帰り、同等のご利用がある。)

西畑線の4便(暗峠12:00発)、6便(暗峠15:25発)のご利用が少ない

(1日あたり1.3人、1.1人)

西畑線1便(暗峠7:30発)の利用は減少傾向にある。

(半年間の比較:1日1.9人→1.0人)

萩原線の1便(せせらぎ8:30発)、4便(せせらぎ16:15発)のご利用が少ない

(1日あたり0.8人、1.3人)

高齢者だけではなく、通学利用もある。また、ハイキング等観光利用の例もある。運賃収入における、現金と回数券との比率は、59:41となっている。

(観光等随時の利用が門前線に比べ多い。)

満席により、乗車いただけなかった例は数件である。

4. 利用促進に向けた方策

【運行開始前】

- ・自治会による集会等でのご利用の呼びかけ
- ・運行開始記事を10月1日付け広報紙いこまに掲載
- ・沿線自治会への時刻表の配布
- ・回数券の販売

【運行開始後】

- ・自治会による集会等でのご利用の呼びかけ
- ・市ホームページに時刻表や路線図を掲載
- ・公共施設等での時刻表の配布
- ・広告入り時刻表の作成・配布
- ・別途チラシの配布(青山台自治会で試行)
- ・門前線運行計画の変更(H24.10.1～。広報いこま9月15日号に掲載)

【今後】

- ・自治会によるご利用のよびかけの継続
- ・広報いこま、市ホームページへの掲載(利用状況、収支の見込 他)
- ・南地区運行計画の変更(H25.1～を予定)
- ・利用状況によっては、南地区については、沿線飲食店とも協力し利用を案内する。